

祝辞



横浜市長
林 文子

港北芸術祭25周年によせて

港北芸術祭が25周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

実行委員会委員である区内在住の芸術家の皆様におかれましては、実に四半世紀もの長きにわたり、企画運営にボランティアで携わっていただいております。改めて深く敬意を表し、心より感謝申し上げます。

文化芸術は人の心を豊かにし、創造性を育み、明日を生きる活力を与えてくれます。時代や国境を超えた共感を生み出し、人と人とを結びつける力を持っています。互いを尊重し、多様性を受け入れる豊かな社会であるためにも、文化芸術はなくてはならないものです。

「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと人々の価値観が移行し、多様化してきたこの四半世紀の間、港北芸術祭は、区民の皆様が質の高い文化芸術に身近に触れられる機会や、地域で文化活動を行っている皆様が成果を発表できる機会を数多く提供してこられ、そのジャンルは実に多彩です。港北芸術祭は、区民文化の振興、ひいては豊かな地域社会づくりに、大きな役割を果たしてこられました。

また港北区ではこの間、一層のまちづくりが進み、市内全18区で最も人口が多い、活力あふれる区へと発展しています。毎年趣向を凝らした多彩な催しが開催される港北芸術祭は、港北区の文化芸術のシンボルとして、幅広い世代の区民の皆様にご支持され、愛されています。今後も、誰もが心豊かにいきいきと暮らせる港北区でありますように、この素晴らしい芸術祭の活動がますます発展し、末永く引き継がれていきますことを、心よりご期待申し上げます。

実行委員会の皆様、並びに関係者の皆様のご健勝とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。25周年のお祝いの言葉といたします。



港区長
横山 日出夫

港北芸術祭25周年によせて

港北芸術祭25周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げますとともに、委員の一人として、港北芸術祭に携わられていることを大変嬉しく思います。

港北芸術祭は、主に鑑賞型事業と参加型事業の2つの事業で構成されています。鑑賞型事業では、平成5年以来、延べ84本もの公演を鑑賞する機会をご提供いただきました。参加型事業では、幅広い世代の方が参加できる多彩なプログラムをご用意していただき、両事業合わせて、毎年、約1万人の皆様にお楽しみいただいております。

港北区は、東京と横浜都心部の中間に位置し、文化的指向が両地域に流れる傾向にある中、これほど多くの皆様をお迎えすることができていますのも、歴代の実行委員の皆様の大変なご努力と、文化芸術を愛する区民の皆様のご裾野の広さ、まさに「豊かな市民力」の成せる技であり、お支えくださいました全ての皆様にご心から感謝申し上げます。

文化芸術は、私たちに感動や喜び、時に衝撃を与え、創造力へとつながっていきます。この創造力こそが、様々な課題を解決するための原動力になっていきます。また、文化芸術がもたらす感動は、様々な社会的属性を越えて共感を生み出す力となります。すなわち、文化芸術は、人と人とをつなぎ、地域課題の解決に向けてコミュニティを活性化させることにもつながっていきます。

区政運営の基本目標である「活気にあふれ、人が、地域がつながる『ふるさと港北』」の達成に向けては、文化芸術に触れることができる豊かな環境を整えていくことが大切です。実行委員会の皆様をはじめ区民の皆様のお力添えをいただきながら、取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

港北芸術祭の益々のご発展と、実行委員会並びに関係者の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。